

持続可能な水産業の実現に向けて

政策提言先 農林水産省・水産庁

政策提言の要旨

- コスト構造の把握に向けた調査を早期に実施し、生産・流通・販売に関わる各事業者が一丸となった、持続可能な価格に向けた協議の実施を提言します。
- 水産業のスマート化やグリーン化の強化を提言します。
- 漁業経営セーフティーネット構築事業の支援の強化を提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 1 生産や物流におけるコストが上昇する中、持続可能な価格の実現に向け、コスト構造の実態把握につながる調査を実施し、主に農畜産物等を対象とした適正な価格形成に関する協議を水産物でも実施するよう提言します。
- 2 環境変化に打ち勝ち、持続的な水産業の実現に向けて、漁業の構造改革として、デジタル化や省力化、人工種苗への転換等への支援の強化及び省エネ化や魚粉に頼らない養殖用配合飼料等の研究・開発の強化を提言します。
- 3 燃油や資材等が高騰する中、安定した漁業の経営の実現に向け、漁業経営セーフティーネット構築事業の支援の強化を提言します。

【政策提言の理由】

- ・燃油、資材及び餌代などの生産コストの上昇が漁業経営を圧迫するとともに、物流コストの上昇により大消費地から離れた地方では競争力の低下が懸念されています。
- ・現在の流通の構造上、生産コストを販売価格に転嫁することが困難であるとともに、関係する流通事業者が多いために、コスト構造の実態を把握することも困難です。
- ・さらに、今後は気候変動や資源の増減などにより水揚げが不安定になることや、天然種苗に依存している養殖（ブリ類等）では持続的な漁業経営が危ぶまれる状況です。
- ・そうした中、国においては食料安全保障強化政策大綱を策定し、農林水産業のスマート化やグリーン化などの主要施策を取りまとめるとともに、価格高騰等の影響緩和対策として、農畜産物等を対象とした適正な価格形成に向けた協議が進められています。
- ・環境変化に打ち勝ち、持続的な水産業の実現に向けては、生産・流通・販売の各段階におけるコスト構造を調査し、水産業の実態を把握するとともに、持続可能な価格について協議を実施することが必要です。
- ・加えて、生産コストの削減につながる水産業のスマート化・グリーン化や、経営安定対策のセーフティーネット構築事業の支援を強化し、確実に実施することが必要です。

【高知県担当課】水産振興部 水産業振興課、水産政策課